

第11回日本ジオパーク全国大会 島根半島・宍道湖中海大会が開催されました。

10月3日～5日、出雲市と松江市を会場に第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会が開催されました。

出雲会場では、巨石ハンターとして知られる須田郡司さんの講演会や、地域でジオパーク活動をされている方々によるパネルディスカッション、全国のジオパーク展示等を開催し、参加者からは「ジオパークと歴史、文化がつながっていることがよく分かった」といった感想が聞かれました。



最終日には、松江会場で開催した市町村長によるセッションや、分科会等で議論されたコロナ時代のジオパーク活動、ジオパーク教育のあり方、ジオパークによる防災減災活動などの意見をまとめ、ジオパーク活動の一層の進展により、持続可能な地域社会を実現することを大会宣言として、幕を閉じました。



映画「神在月のこども」全国ロードショー！

10月8日、出雲市を舞台としたアニメーション映画「神在月のこども」が全国ロードショーとなりました。

この映画は、主人公の少女カンナが、亡くなった母の形見に触れたことをきっかけに、神在月の出雲へ向かう物語です。旅の仲間や全国の神々との出会いや関わりを通して、カンナの成長や親子の絆が描かれる感動のストーリーです。

10月2日には、大社文化プレイスうらら館で、映画の先行上映や、カンナ役の女優・蒔田彩珠さんなどによるトークショー、シンガーソングライターのmiwaさんによる主題歌・エンディング曲の披露などがあり、約300人の観客が映画の世界観に魅了されました。



出雲市空家等対策協議会を開催しました。

10月22日、市は、出雲市空家等対策協議会を開催しました。協議会は、令和4年度からの「第2期出雲市空家等対策計画」を策定するため、さまざまな分野の専門家が委員となり審議をいただくものです。委員からは、「家の将来について家族と話すことが必要」「いずも空き家バンクや相続登記の義務化など、分かりやすく周知することが重要」などの意見がありました。市は、協議会での審議を経て、来年3月に第2期対策計画を策定する予定です。

多伎の日ウィーク～海辺のTシャツアート展～が開催されました。

多伎元気な会では、11月3日を「多伎の日」と制定され、10月30日から11月7日までを「多伎の日ウィーク」として、道の駅キララ多伎を中心に、さまざまなイベントを開催されました。

初日にあたる10月30日からは、「海辺のTシャツアート展 in 多伎」と題して、多伎こども園・多伎小学校・多伎中学校など多伎の子どもたちが未来への夢・思いを手書きで描いたTシャツ約300枚が展示され、キララビーチを彩りました。

多伎元気な会は、高速道路が開通する3年後以降も、多伎地域が元気な町であってほしいという思いから、地元住民等で立ち上げられた団体です。今後も楽しいイベントを企画される予定ですので、ぜひ多伎地域へお出かけください。



人 口	174,772人	(+3)
男 性	84,978人	(-1)
女 性	89,794人	(+4)
世 帯 数	68,484世帯	(+59)

[令和3年10月31日現在]

12月の市税・保険料の納期限

国民健康保険料(第6期)、後期高齢者医療保険料(第6期)及び介護保険料(第5期)の納期限は

12月27日(月)です。

**口座振替なら、対面による感染リスクを減らせます。
安心・安全・便利な口座振替をぜひご活用ください。**